

プログラム(2017/7/26 変更)

※セッション 2、3、4 の講演、講義の要旨は 7 月頃、日本カトリック医師会ホームページに掲載予定。
 ※プログラムの一部が変更になることがあります。

9 月 23 日(土・祝)

9:45-10:00 受付

10:00-10:15 開会式

10:15-11:30 【セッション 1】「ライフ・チャート」 担当:黒須 優理菜(上智大学神学部学生)

これまでの生涯の歩みを振り返り、また、将来を想像してグラフを描きます。

自分にとってのターニング・ポイントはどこだったのか、この道を志したきっかけは何だったのか。医療者として、また、キリスト者として、私たちはどこに導かれているのかを考えます。

11:30-12:30 昼食・情報交換会

12:30-14:30 【セッション 2】「先輩！なんでこの道に？～ライフワーク分科会～」

様々な分野、多種多様な医療系職種で活躍する先輩たちの「召命」は、どんなものだったのでしょうか？先輩たちの歩んできた道のり、その経験談を、分科会形式で伺います。

※Part 1 の A・B・C から 1 題、Part 2 の A・B・C から 1 題を選んでご参加下さい。

12:30-13:20 Part 1	
A 会場	「マラリア対策で世界を変える」 狩野 繁之(国立国際医療研究センター 研究所 熱帯医学・マラリア研究部部長(医師))
B 会場	「現代の若者を取り巻く性について(仮)」 巻島 愛(国立大学看護学科助教 看護師、助産師、思春期保健相談士)
C 会場	「手を差し伸べてその人にふれること」 中東 加保梨(都立北療育医療センター 看護師)

13:40-14:30 Part 2	
A 会場	「～東南アジアでの国際医療支援を経て～(仮)」 海老原 慧(透析クリニック勤務 看護師、臨床工学技士)
B 会場	「心臓病の親子に寄り添う」 八島 正文(国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院 小児心臓外科医)
C 会場	「共に歩む～医療ソーシャルワーカーの視点を通して～」 Sr.漆原 めぐみ(聖ヨハネ会 桜町病院 地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー)

14:30-15:00 休憩

15:00-17:30 【セッション 3】「かたりば～哲学対話～」

講師：小川 泰治(国立東京工業高等専門学校非常勤講師 等)

「働く意味ってなんだろう」「幸せになるのにお金はどのくらい必要？」……などなど、世の中には知識だけでは答えの出ない『問い』がゴロゴロしています。お互いの気になっている問いを持ちよって、少人数でじっくり、ゆっくり話して考えてみませんか？

大切なのは普段は考えないような問題の前でゆっくりと立ち止まってみること、です。

18:00-20:00 懇親会

食卓を囲みながらの交流の場です。日中話し足りなかったことを深めたり、いろいろな職種・立場の人とつながるチャンスです！各地のお土産(おつまみ、お菓子、飲み物)も大歓迎です♪

9月24日(日)

10:00-11:00 【セッション 4】講演 「いのちに仕える」

講師：竹内 修一(上智大学神学部教授、イエズス会司祭)

医療現場を想定したとき、普段は科学や技術など現実的な思考を優先しがちな私たちですが、宗教的な視点、あるいは、神様から見た「いのち」への想いとはどんなものなのでしょうか。人間という存在、尊厳、本質・・・曖昧だけれど、かけがえのない「いのち」に、どう向き合っていくように求められているのか。倫理神学を研究している竹内神父にお話しをお聞きします。

11:15-12:15 ミサ

感謝の祭儀とも呼ばれる、カトリック教会の祈りの集いです。

ケアの原点ともいえる教会がどんなことを大切にしてきたのか、この機会にふれてみませんか？初めての方でも参加しやすいよう、解説付きです。

12:15-12:30 閉会式

12:30-13:00 昼食

13:00- オプション・ツアー (自由参加)

下記の中からお選び下さい。ただし、ご希望に添えないこともありますので、ご了承下さい。

多磨全生園

(公共交通機関利用で会場から現地まで約 60 分、16:00 頃現地解散予定)

国立療養所多磨全生園(たまぜんしょうえん)は、東京都東村山市にあるハンセン病患者の収容施設です。施設内にある国立ハンセン病資料館、カトリック教会などを見学する予定です。

聖母病院・聖母ホーム

(会場からすぐ、15:00 頃現地解散予定)

聖母病院はマリアの宣教者フランシスコ修道会が経営する病院で、85 年の歴史の歴史があり、154 床、13 の診療科を持っています。聖母病院に隣接する聖母ホームは、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、グループホーム、デイサービス、地域包括支援センターなど総合的なサービスを提供しています。

きぼうのいえ

(公共交通機関利用で会場から現地まで約 60 分、15:30 頃現地解散予定)

きぼうのいえは東京の日雇い労働者の街、通称山谷(さんや)地区にある、身寄りのない人、行き場がない人のための在宅ホスピスケア施設です。